

1年生 キャリア教育単元計画 2022 (R4)

教科	生活科
単元名	おいでよ あきのテーマパーク
関連する教科	国語科, 図画工作科
単元計画の概要	園児とのかかわりで, 自分がお兄さん, お姉さんになったという自分の成長に気付いたりする学習である。「自分が楽しむ」から「園児に楽しんでもらう」ことをしっかりと意識付け, 園児とどのように接したらよいかを考えさせたい。
関連企業等 (連絡先)	戸手保育所 0847-52-5536 戸手南こども園 0847-52-5545
単元目標	秋の自然物を使って作ったもので遊んだり, 園児を招待したりして, 一緒に秋の遊びを楽しむことができる。

キャリア教育と生活科本単元で育成する資質・能力

	と・で チャレンジ&チェンジする力	つ 自己表現力	こ 自己理解力
知識及び技能	生 みんなで楽しむために, 約束やルールなどが必要だと気付く。		キ 自分のよさに気付く。
思考力・判断力・表現力等		生 自分の思いを相手に伝えることができる。 生 実際に遊ぶ中で, みんなが楽しく遊べるように考え, 遊びや遊び方を工夫することができる。	
学びに向かう力 人間性	キ 自分のやりたいことに挑戦する。		生 園児に上手に関われたことを, 自分の成長として捉える。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
とで みんなで楽しむために, 約束やルールなどが必要だと気付いている。	つ 実際に遊ぶ中で, みんなが楽しく遊べるように考え, 遊びや遊び方を工夫している。	こ 園児に上手に関われたことを, 自分の成長として捉えようとしている。

本質的質問

園児 (他者) と自分が, 一緒に楽しめる遊びはなんだろう。

活 動 計 画

学習 段階	○学習活動 ・ 支援（留意点）	評 価	
		評価規準	評価手法
計 画 (1)	<p>○遊びや遊び方の工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと楽しく遊ぶことができるように試行錯誤しておもちゃをつくることができるようにする。 ・園児と一緒に楽しく遊ぶことができるように遊び方を工夫できるようにする。 	知 みんなで楽しむために、約束やルールなどが必要だと気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート ・メモ
実 践 (2・3)	<p>○1組・2組が考えた遊びを実際にやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1組が1年生役の時は2組は保育所の子役で、2組が1年生役の時は1組は園児役で実際に遊びをやってみる。 ・園児に優しく声を掛けたり、ルールを分かりやすく説明したりする。 ・1組は2組に、2組は1組にアドバイスを行う。アドバイスカードに書いておく。 	思 実際に遊ぶ中で、みんなが楽しく遊べるように考え、遊びや遊び方を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・アドバイスカード ・メモ
修 正 (4)	<p>○アドバイスをもとに、遊び方の工夫を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスカードをもとに、遊び方の工夫を修正できるようにする。 ・園児の立場に立って考えることができるようにする。 	知 みんなで楽しむために、約束やルールなどが必要だと気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート ・メモ
実 践 (5・6)	<p>○テーマパークの準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで協力して準備を行うことができるようにする。 ・園児の立場に立って準備を行うことができるように声を掛ける。 <p>○テーマパーク 本番を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児に寄り添って声を掛けることができるようにする。 ・分かりやすく話すように声を掛ける。 <p>○後片付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみをきちんと分けて捨てるようにする。 	思 実際に遊ぶ中で、みんなが楽しく遊べるように考え、遊びや遊び方を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート ・メモ
ま と め (7)	<p>○振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちになって考えることができたか。 ・園児への接し方について ・自分の成長 	主 園児に上手に関われたことを、自分の成長として捉えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート ・メモ

【児童の姿】

(ボーリングでピンが倒れなくて泣いている園児がいる場面)
C：もう少し近付けてやってみよう。(ピンを泣いている園児に近付け、もう一度チャレンジできるようにする。)

(葉っぱつりでどうやって釣るとよいか迷っている園児がいる場面)
C：大きな魚をねらうといいよ。(自分たちが練習でやった時に楽しく遊ぶことができたコツを園児に伝えている。)

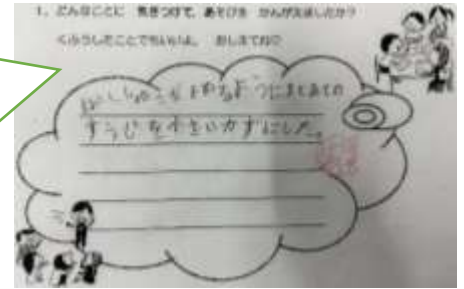


もう1回やってみよう。
ごらん。

大きな魚をねらう
といいよ。



他にも、
「(ボーリングのルールで) はじめは60びょうでなんてんとれるか、にしていたけれど、5こなげてなんてんとれるかにかえて、わかりやすくした。」等、園児が楽しく遊ぶことができるよう、遊び方を工夫したことが分かる記述があった。



【授業者リフレクション】

成果

- ・「園児と一緒に楽しむ」という相手意識を持って、活動に取り組むことができた。
- ・自分たちがつくったおもちゃで何度も遊んでみることで、ルールの難しさや、付け加えた方がいい説明に気付き、改善することができた。

☆課題 →改善点

振り返りの視点がよくわかっていない児童がいた。

→単元で目指す目標を、児童と一緒に意識できるように、児童用のルーブリックを提示する。